

## 事業実績報告書

様式2  
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-44	講座名	りす山の自然学校 なごやの野生二ホンリスをいっしょにまもりませんか？
記載日	2020/4/24	団体名・企業名	守山リス研究会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

調査活動や捕獲調査に参加し、野生の二ホンリス等を調べ守る本物の「体験学習」を実施しながら、観察をしてみたままを発表する「発見学習」を実施。また出くわした植物・生物など自然と知恵比べをすることで「発見学習」・「課題解決学習」をして、観察力を磨き、自然の知恵に驚き・感動するプログラムを実施。今の子ども達に求められるアクティブ・ラーニングの学習の基礎となるこの三つの学習を体験してもらいました。



### ※写真1の説明

リス捕獲と自分の見た特徴観察報告

### ※写真2の説明

定期調査の一つ胸高直径計測の数字を読む小学生

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

リス捕獲の後に、必ず参加した子ども達やおやごさんにも、リスの特徴をみたままでみんなの前で発表してもらうことが定着して、他のこどもの意見に関係したり、広げたり、それならこう見えたというように一人一人の見方がかなり広がったと思われます。その結果、みたままの特徴を口頭で発表することが、かなり訓練をしないと難しいということが体験できたことはとっても良かったと思われます。そして、その見たままを文章で書くことでより豊かな文章になり、書いたひとの経験が、読んだ人の頭にイメージとして浮かび、作者と同じような「体験ができた」という内容になればすばらしい作文になるということがつたつたことが良かったと思われます。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

ただ単にリスや植生を知るだけでなく、観察力や教育のための知識を学んだ。見たことを言葉にする。感じることは違うというのをわかりやすく子どもへの言葉がけも変えていきたいと思います。話がとにかく楽しかった。モノの見方を教わり、動物の新しい発見ができて楽しかったです。子育てのために。説明がとてもわかりやすかった。今後の教育方法の良い刺激となりました。(先生) これからの社会に必要とあれる事項なども。リスの知識だけでなく、教育・食育などいろいろな話が聴けてよかった。観察することの重要性、言葉にすることの重要性を丁寧に教えて頂いた。